

企業価値を向上させ社会価値を創造する実践的IT人材

- 9:30~9:40 オープニング CITPフォーラムとその活動の紹介
CITPフォーラム代表 平林元明
- 9:40~10:00 今の時代を支える30~40代のIT技術者同士の交流を通じて
日本電気株式会社 服部智明
- 10:00~10:20 プログラミング教育の充実に向けたCITPと大学による連携と
プログラミング教育を実践するための民間人材活用を推進
東京大学 五十嵐智生
- 10:20~10:40 シビックテックSIG CITPシンポジウムワークショップ報告
株式会社ラック 福士靖子
- 10:40~11:00 「知」の発信SIG ソフトウェア開発プロジェクトマネージャ育成
の多面的な取り組み 日本電気株式会社 井川淳司
- 11:00~11:20 「知」の発信SIG プロジェクト成功のためのチームビルディング
と動機付けのすすめ 株式会社中電シーティーアイ 宮下修
- 11:25~12:30 パネル討論 CITPが高める企業価値とそれを支える人材
司会 株式会社ハイマックス 土屋俊樹
パネリスト 服部智明、五十嵐智生、福士靖子、井川淳司、宮下修、平林元明

CITPフォーラムの趣旨

企業価値を向上させ社会価値を創造する実践的IT人材

未来投資戦略では、Society5.0実現のため「データ」と「人材」を活用したオープンイノベーションの推進、データ駆動型社会への変革が宣言された。情報処理学会の認定情報技術者(CITP)制度によって認証された実践的IT人材が求められる時代になってきた。CITPとは「実行力のある高度IT人材」を認証された人材である。この実行力を生かし、AIなどの新しい技術を活用して、社会が必要とする価値を創造することで、その力を発揮することができる。CITPコミュニティは、IT人材が新しい技術にチャレンジする機会を作り、企業間交流による価値の創造、プロフェッショナル貢献に寄与している。業務を通じた会社への貢献だけでなく、自身の価値を高め、社会へ貢献していくことも必要である。専門的能力と社会の変化に対応し、超スマート社会を牽引する実践的なIT人材によるコミュニティ活動を紹介する。

オープニング

CITPフォーラムとその活動の紹介

2019/2/5

CITPフォーラム代表 平林 元明

認定情報技術者

#13000007

ITスペシャリスト
プラットフォーム

トピックス

情報処理学会誌に小特集を掲載



小特集

掲載号: 2018年10月号(9/15発行)

小特集テーマ: 国際標準になった認定情報技術者(CITP)

タイトル: 編集にあたって

著者: 芝田 晃(資格制度運営委員長)

タイトル: IFIP IP3による国際認定を取得したCITP制度

著者: 芝田 晃(三菱電機)

タイトル: 社内資格制度の認定の効用

著者: 初田 賢司(日立製作所)

タイトル: CITPコミュニティの活動

著者: 平林 元明(CITPフォーラム代表)

タイトル: CITPによる地域復興アイデアソン

著者: 赤坂 亮(日本IBM)、土屋 俊樹(ハイマックス)

CITPシンポジウム

ITを活用した新たな社会価値の創造

主催：一般社団法人情報処理学会CITPフォーラム

後援：石巻市、一般社団法人情報処理学会 東北支部

日時：2018年11月2日（金）13:30-17:00

会場：石巻専修大学 5号館5302（入場 13:00）

概要

- ・ 認定情報技術者(CITP)制度は、実践的なIT能力を情報処理学会が認定するもので、5年目を迎え認定者も約7400名となり、コミュニティ活動を通じた社会への貢献活動が開始されている。
- ・ 一方、情報通信技術を活用し、市民が自ら子育てや介護といった地域の課題を解決する「シビックテック」と呼ばれる取り組みも広がっている。
- ・ 本シンポジウムでは、CITPとシビックテック、デジタル(AI)とアナログの融合をキーワードに、新たな社会価値創造について考える。
昨年につき、ワークショップを通じ、シビックテックのプロセスを体験する。

プログラム

- ・ 高度IT資格“CITP”とSociety5.0（平林）
- ・ AI（人工知能）を活用した社会価値の創造事例（赤坂）
- ・ シビックテック ワークショップ（福土）
シビックテックの手法を用いて、
参加者が地域の課題解決／価値創造を考える



- 定例会での発表や企業間コミュニティでの交流
- 活動成果の発表
- アニュアルレポートの発行 (JUASと連携)
(2017年度)

- (特別寄稿) CITP制度のIFIP IP3認定について
- CITPフォーラムの活動
~社会に求められる高度IT人材像とCITPの活動の方向性~
- デザイン思考を流用した地域復興アイデアソン
<境界を越えた協働事例>
- 中国のインターネット事情
~キャッシュレス化がもたらす超スマート社会~
- 小学校プログラミング教育への考察
~夏休みの宿題で感じたこと~
- ビットコインをきっかけに学ぶ暗号技術入門
- 認定情報技術者(個人認証)申請の手引き
- パブリッククラウドの本格利用に伴うネットワークの課題と対策
- ITSSレベル判定からの脱却 ~iCDとPBLを活用したIT技術者育成体系の再構築~



■国際標準: IFIP IP3の認定を取得

CITPはグローバルに通用する資格

◆ IP3: International Professional Practice Partnership

- IFIP(情報処理国際連合)が2006年に設置した、高度IT人材資格制度の推進組織

◆ IP3のミッション

- IT専門家の国際標準を定めること 及び、IT実践者と雇用組織の発展を奨励・支援し、知識・経験・能力・誠実さの標準を満たし維持する人を承認するインフラをつくることにより、グローバルなIT専門職の強化と、強い国際経済の発展に貢献すること

◆ IP3のメンバー

- 11学会
オーストラリア: ACS、南アフリカ: IITPSA
カナダ: CIPS、ニュージーランド: IITPNZ
日本: 情報処理学会、ジンバブエ: CSZ
韓国: KIISE、エジプト: ITI、スイス: SI
スリランカ: CSSL、オランダ: NGI/VRI
- 2協会 IIBA、ISACA



2018年2月
認定取得



CITPコミュニティの主な専門部会(SIG)

シビックテック

- ・ ITを活用し、被災地をはじめとする地域社会の課題解決に取り組む、石巻専修大学で学生を対象にシンポジウムを開催

プログラミング教育支援

- ・ 小中学校など学生を対象にCITPによる貢献を検討、2020年から義務化される小学校のプログラミング教育におけるCITPの活用を提言

『知』の発信

- ・ CITPが持つノウハウや活動成果を『知』としてまとめ、エッセイや論文などで公開・発信、企業間コミュニティ交流、アニュアルレポート公開

アラサー技術者交流

- ・ 若手CITP同士の交流をする、最新技術に関する講演、ビジネスアイデア検討会、体験型のワークショップなどを行う場を提供

SIG: 有志による特別活動

本日の講演資料は「CITPコミュニティ」の
Webページで公開する予定です
<https://www.citp-forum.ipsj.or.jp/>

アンケート調査にご協力ください
記入後机上に残してください